

KAUST との共同事業実施の協定書締結

－太陽光エネルギーを用いた硫化水素の分解による水素製造に関する共同事業－

JCCP は、平成29年6月21日、サウジアラビアのアブドラ王立科学技術大学（KAUST）と「太陽光エネルギーを用いた硫化水素の分解による水素製造に関する共同事業」について、KAUST ジャン・フレシェ教授・研究副学長（Professor Jean Frechet, Vice President of Research）およびJCCP 平岡英治常務理事による事業実施協定書（MOA）の署名式を、KAUST 内において執り行いました。

署名式にはその他、KAUST よりジャスティン・マイナー教授・研究準副学長、高鍋和広准教授他、また参加会社である昭和シェル石油(株)より当事業関係者が出席しました。

当事業では、油田やガス田から副生する有害な硫化水素を無害化する方法として、太陽光を用いて硫黄と水素に分解する技術を実証し確立します。今後、この新技術が石油産業等に実用化されることが期待されます。

なお、当事業は、JCCP としてKAUST と初の共同事業であり、事業期間は平成29年度から平成31年度までの3年間です。

(技術協力部)

